

高過ぎる国保税は引き下げを

国保税率の引き下げを検討



照井 明子 議員

Q 県内13市の中で、本市の国保税が一番高い。基金の活用や一般会計繰入金の増額など、引き下

げを急ぐべきではないか。また、子どものいる世帯や医療を必要とする世帯へ保険証交付されているか市の対応を伺う。
A(健康こども部長) 決算見込みや基金残高等を勘案し、引き下げに向け見直しを進めている。中学生以下の子どものいる

世帯に対しては滞納があっても、また、入院等の特別な事情がある世帯においても、申し出により資格証明書から切り替えて、それぞれ短期被保険者証の交付をしている。
離職者支援の窓口を 失業が長期化する中

で、再就職のあっせんや生活の確保、生活資金や生活保護の相談、この相談等にも対応できる「ワンストップサービス」の窓口設置や定期的開催について伺う。
A(市長) 市民の相談に対応するため本年4月に開設した市民生活総合相談センターやジョブカフェはなまき等、通年で常設している施設を中心に、関係機関と連携を図りながら支援していく。



本年4月にスタートしたジョブカフェはなまき(花巻市ビジネスインキュベータ1階)



本市は、全国最大規模の雑穀生産地となっています

本年度雑穀への本市の交付額は

県等で定めた額との差額を支給



藤原 米光 議員 (明和会)

Q 水田利活用自給力向上事業について、3月に県より交付額が示されたが、花巻地方の雑穀の交

付額が少なく激変緩和措置がとられたところである。本市も振興作物に助成をすることで予算措置をしたが、市の交付額がどれくらいなのか伺う。
A(農林水産部長) 昨年度の作付要件を満たした場合に差額を補てんするもので、その上限が36

100円であり、県および花巻地方水田農業推進協議会で定めた34000円との差額21000円が支給単価であるが、実際の作付状況確認後に確定することとなる。
市内の危険個所は 各総合支所で現地研

修をし、危険個所を点検したようだが、市内には、どれくらい危険個所があるのか伺う。また、策定中の水害時の避難勧告基準の進捗よく状況について伺う。
A(総務部長) 急傾斜地が217カ所、土砂流危険区域が366カ所、地滑り危険区域が8カ所の総計591カ所である。また、避難勧告基準として、「花巻市避難勧告等発令・伝達マニュアル」を昨年11月末に策定済みである。

委嘱により住民自治阻害ないか

さらに効果的な地域づくり期待



阿部 一男 議員 (平和環境社民クラブ)

Q 平成23年度から開始の「花巻市合衆市構想」について伺う。町内会の延長であるコミュニティ会

議の会長が行政の非常勤特別職として委嘱されるが、これにより住民自治や自主性が阻害されることにならないか。また、指定管理者制度の導入により振興センターの職員が一人体制になるが、休暇等の不在時の対応はどうなるのか。合衆市構想は、

「花巻市まちづくり基本条例」による住民参画と協働の手続きを踏み、市民参加を行った後、制定すべきではないか。
A(市長) 地域住民から選ばれた地域の代表者である会長の身分を確立することにより、さらに効果的な地域づくりが期待

できる。また、振興センター職員が不在時には、これまでと同様に本庁や支所の職員が支援するなどして対応する。住民参画と協働の手続きについては、これまでも小さな市役所の検証を各コミュニティ会議と継続的に行ってきており、今後も各地区住民との意見交換会や説明会を重ね、地域の意見を聞いて、よりよい制度の構築を目指していく。



それぞれのコミュニティ会議では、活発な地域活動が行われています(自主防災研修会視察 外川目地区)

総合計画の見直しの手順は

市民の意見を聴きながら見直す



近村 晴男 議員 (花巻クラブ)

Q 花巻市総合計画の見直しに当たっては、地域ごとや各種団体ごとなど市民からの声の聴き方、

参画の仕方など、どのような手順を経て進めるのか伺う。
A(市長) 本年度で4年目を迎える現在の総合計画は、策定時からの急速な社会経済動向の変化等により見直しが必要となった部分が生じているため、新しいマニフェス

トに即し、また、総合計画審議会、パブリックコメントや意見交換会等を通じて、市民の意見を聴きながら見直しを進めていく。
携帯電話の不感対策 携帯電話の不感地域は災害時に孤立化する危

険地域と重なる場合もあることから、本年、不感地域の解消に取り組むことは、災害時の情報発信等に効果が期待されるが、それでもなお不感地域が存在する場合、継続して解消に取り組むのか伺う。
A(政策推進部長) 本年度より「移動通信用鉄塔施設整備事業」を実施し、携帯電話の不感地域の解消に取り組んでいるが、仮に不感地帯が生じる場合は、継続してその解消に取り組む。



携帯電話の不感対策として、本年度中に移動通信用鉄塔が整備される大迫町外川目地内